

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名           それいゆ療育センター伊万里          

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	0%	既存の他店のを利用して、活動用教室を3室確保している	児童の特性に合わせて、活動しやすいように検討していく
	②	職員の配置数は適切である	50%	50%	0%	法律に基づく必要な人員を配置している	適切な人員配置を今後も継続していく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	25%	50%	25%	児童の特性に合わせて、構造化された環境を設定している。既存建物のため、バリアフリー化が難しい	引き続き、児童に分かりやすい環境設定に努める
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	50%	50%	0%	職員全員が業務内容を把握し、改善できる箇所は見直しをすることを行っている	今後も、振り返りを行いより良いPCDAサイクルに努める
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	25%	25%	保護者の方の意見等を丁寧に受け止め、その都度確実に対応できるように努めている	今後も、継続して行っていく。また、改善出来る内容は、積極的に取り組んでいく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	25%	0%	ホームページで公開中。	ホームページ上に公開していることを周知していく
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	50%	25%	第三者による外部評価は未実施。	法人内の第三者評価を受けた事業所の結果を参考に、業務改善につなげていく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	25%	0%	月に1回の研修を行い、また毎日のミーティングでは支援についての再確認を行っている	職員間で情報の共有を行い、よりよい資質の向上を目指していく
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	50%	0%	お子様の療育日に合わせ、課題や手立ての準備を行っている	今後も継続し、余裕をもって設定準備に努める
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 それいゆ療育センター伊万里

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0%	0%	0%		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	0%		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75%	25%	0%	必要な情報を毎日記録している。また、連絡帳や支援記録から、児童の課題や支援内容を検討している	必要な情報を適切に記録することができるよう、今後も務めていく
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	75%	25%	0%	支援計画立案時は、ガイドライン内容に沿って立案するよう心掛けている	ガイドライン総則等に基づいた支援内容を今後も心掛けていく
関係機 関や保 護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	75%	25%	0%	学校からの連絡帳などで確認をする場合がある。また施設見学などでは学校の様子などを共有することがある。トラブルの対応などについて解決に努めている	特に緊急時などには、素早く対応が出来るように今後も学校からの情報を把握出来るような体制づくりに努める
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	25%	25%	現在、該当者なし	該当者がいる場合は、連絡体制を整える
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	25%	75%	0%	希望時、相談支援事業所を中心として、情報提供や支援会議に参加している	今後も、相談支援事業所を中心に連携し、情報共有と相互理解に努める
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75%	25%	0%	希望時、相談支援事業所を中心として、情報提供や支援会議に参加している	今後も、相談支援事業所を中心に連携し、情報共有と相互理解に努める
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	25%	25%	必要時や要請があった場合にに応じている	必要時や要請時は、関係機関に要請し、指導助言を求めていく
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	50%	25%	事業所としては、児童の特性や療育内容に配慮し、設定していない	併用利用がほとんどのため、園での様子は保護者から情報収集し、支援計画立案の参考としている。今後も継続していく	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 それいゆ療育センター伊万里

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	50%	25%	25%	開催時は、児童発達支援管理責任者が参加している	今後も、児童発達支援管理責任者が参加し、地域との連携に努める
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	75%	25%	0%	療育時には連絡帳に記載の内容や最近の様子について確認し、最新のお子様の状況や様子を把握出来るようにしている	今後も継続して行い、保護者の方、お子様との関係を深めることが出来るように対応していく
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	25%	25%	保護者支援の担当者が、年3回保護者会として実施している	療育時の見学や支援会議等で具体的に支援方法を提案することともに、今後も保護者会を計画し、保護者の対応力向上に務める
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75%	25%	0%	契約時に、運営規定、支援の内容、利用者負担について説明を行っている	ご不明な点等があれば、その都度丁寧に対応を行う
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	0%	年3回の保護者会を実施している。積極的な声掛けを行っている	今後、より多くの保護者の方に参加していただけるように声掛けを行っていく
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	25%	25%	50%	療育後に支援内容と様子を報告している。また、利用日や行事等については、年度当初等に書面で交付している	必要な連絡等は、利用時や支援会議等のやりとりや、書面等で伝達していく
	㉘	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		
	㉙	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	25%	50%	実施していない	個人情報等の観点から、今後も計画はない
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	25%	0%	緊急時のマニュアルについては契約時にお伝えするとともに、保護者の方が分かりやすい場所に提示をしている。また職員には研修で伝えている	今後も引き続き周知を徹底する
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 それいゆ療育センター伊万里

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%		
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%	0%	アレルギーについては毎年アンケートで確認をしている	定期的アンケートを実施するとともに、保護者から情報提供があった際には、必要な対応を行う
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	25%	0%	事例があった場合はミーティング等で情報共有をしている	ミーティングで情報共有をするとともに、発生時は書類を作成し、対応を検討していく